

## 北海道における DPAT の体制整備について

### 1 北海道 DPAT の体制（令和4年12月末時点）

統括者	北海道立精神保健福祉センター： 所長 岡崎 大介 北海道大学病院 精神科神経科： 准教授 賀古 勇輝 北海道大学病院 精神科神経科： 助教 成田 尚
先遣隊	北海道大学病院： 11名2チーム 市立釧路総合病院： 3名1チーム 岡本病院： 3名1チーム
北海道 DPAT 協定状況	医療機関数： 10箇所 人員数： 82名（統括者を除く）

### 2 各種研修について

(1) 令和4年度 DPAT 事務局主催研修 ※今年度参加者なし

(2) 令和4年度北海道 DPAT 研修（集合・ウェビナー）

ア 開催日時 令和4年9月23日（金・祝） 10:30～16:30

イ 参加者数 14 医療機関 38名

・集合研修（医師5名、看護師2名、業務調整員6名）

・ウェビナー研修（医師6名、看護師3名、業務調整員16名）

※道内精神科病院のクラスター発生により、多くの医療機関が参加意向を示しながらも参加できなかったため、ハイブリッド形式での開催に急ぎ変更した。

(3) 令和4年度大規模地震時医療活動訓練（内閣府主催） ※先遣隊向け

ア 開催日時 令和4年10月1日（土） ※北海道 DPAT は愛知県に派遣

イ 参加者数 2先遣隊7名、訓練コントローラー1名（統括者）

(4) 令和4年度北海道 DPAT 調整本部等設立訓練 ※先遣隊向け

ア 開催日時（予定） 令和5年2月23日（木・祝）

イ 参加予定者数 3先遣隊11名

※先遣隊以外の DPAT 隊員には、ウェビナー配信による視聴枠を設定予定

### 3 今後の取組について

令和3年度に一定の体制整備が行われたことから、令和4年度は、実際の災害に対応するための取組みに重点を置いた。今後予定している訓練後に、新たな先遣隊の募集に向けた検討を行うとともに、令和5年度は先遣隊を含めた隊の増加を中心とした体制拡大を目指す。

参考資料	1 令和4年度北海道 DPAT 研修プログラム
	2 令和4年度大規模地震時医療活動訓練
	3 令和4年度北海道 DPAT 調整本部等設立訓練プログラム案

令和4年度北海道DPAT研修プログラム

日時：令和4年9月23日（金・祝） 10:30～16:30

場所：TKPビジネスセンター赤れんが前

札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日札幌会館5階

開場 10:00

開始	終了	時間 (分)	内容	講師
10:30	10:35	5	開会挨拶	北海道保健福祉部福祉局 障がい者保健福祉課
10:35	11:05	30	【講義1】 「DPATとは-北海道における現状と課題-」 ・DPATの役割とこれまで、北海道の現状と課題	北海道大学病院精神科神経科 助教 成田 尚 氏
11:05	11:35	30	【講義2】 「災害時のこころのケア」 ・災害時に必要となる心のケアについて学ぶ	道立精神保健福祉センター 所長 岡崎 大介 氏
11:35	11:50	15	【午後のプログラムの説明】 ・EMISのページへの接続、演習時方法の説明、 各自の役割の確認	北海道保健福祉部福祉局 障がい者保健福祉課
11:50	12:50	60	休憩（60分）	
12:50	13:50	60	【演習1】 「災害医療情報支援システム EMIS」 ・EMISの理解、災害時のEMIS入力方法の習得（緊急時入力・詳細入力・DPAT登録・活動状況入力）	DPATインストラクター 菅野 孝 氏
13:50	14:00	10	休憩（10分）・準備	
14:00	16:10	130	【演習2】 「DPAT派遣時のCSCA」 「本部運営」 ・DPATにおける派遣の準備、安全管理の重要性、被災地での本部立ち上げ及び運営の理解	DPAT事務局次長 河島 讓 氏
16:10	16:25	15	講評	各講師
16:25	16:30	5	閉会挨拶	北海道保健福祉部福祉局 障がい者保健福祉課

閉場 17:00



令和4年9月22日

内閣府(防災担当)

## 令和4年度 大規模地震時医療活動訓練について

### 1 訓練の趣旨

南海トラフ地震を想定し、「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」(平成27年3月30日中央防災会議幹事会決定、令和4年6月10日最終改定)に基づき、国、地方公共団体等が連携して、大規模地震時医療活動に関する総合的な実動訓練を実施し、当該活動に係る組織体制の機能と実効性に関する検証を行うとともに、防災関係機関相互の協力の円滑化を図る。

### 2 訓練の概要(訓練実施箇所ごとの訓練概要は別紙参照)

実施日	令和4年9月30日(金)及び10月1日(土)
訓練想定	南海トラフ地震により、静岡県、愛知県、三重県及び和歌山県に甚大な被害発生を想定
主な訓練項目	① 地域医療活動訓練の実施 (本部運営、域内搬送、参集拠点設置、SCU運営等) ② DMATの参集、活動訓練の実施 (各被災県への配分、災害拠点病院等での医療活動等) ③ 広域医療搬送訓練の実施
参加機関等	内閣官房、内閣府、警察庁、消防庁、厚生労働省(DMAT事務局含む)、国土交通省、海上保安庁、防衛省、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、日本赤十字社、中日本高速道路株式会社、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県、北海道、富山県、鳥取県等

### 3 問合せ等について

(1) 問合せは、次の区分によりそれぞれの問合せ先へお願いします。

① 訓練概要のうち、

- ・ DMAT の訓練内容等に関することは「3 厚生労働省DMAT事務局」へ
- ・ 道県の訓練内容等に関することは別紙「(〇〇県)の訓練概要」の各参加道県担当課へ
- ・ 広域医療搬送訓練に関することは「1 内閣府(防災担当)」へ

② 大規模災害時の医療体制、制度等に関することは「2 厚生労働省」へ

③ 大規模災害時の国の機関の連携に関することは「1 内閣府(防災担当)」へ

④ その他問合せ先が不明な場合等は「1 内閣府(防災担当)」へ

(2) 訓練実施日における実施場所での取材については、原則として入場登録等が必要です。

つきましては、その登録手続等について9月27日(火)までに各参加県担当課又はDMAT事務局にお問合せください。

また、取材時には、訓練の妨げにならないよう、現地担当者の指示に従ってください。

<問合せ先>

1 内閣府(防災担当)

地方・訓練担当 参事官補佐 矢竹 千洋

TEL 03-3503-2236(直通)

2 厚生労働省医政局地域医療計画課

災害時医師等派遣調整専門官 大山 慶介

TEL 03-3595-2185(直通)

3 厚生労働省DMAT事務局

(独立行政法人国立病院機構本部DMAT事務局)

市原 正行

TEL 042-526-5701(直通)

## ○災害発生から北海道DPAT調整本部の立上げの訓練の活動概要

※他県の訓練資料を参考としたものであり、当日のプログラムはこの限りではありません

時刻	目安	項目	対象	内容
9:00		準備	道庁	訓練準備(共通) ・用具搬入 ・パソコン設置 ・クロナロ設置  障がい者保健福祉課 ・調整本部用の配席 ・役割分担図  別館or緑苑ビル ・活動拠点本部用の配席 ・支援活動用具 ・講評用資料
13:00	30分	訓練開始 災害発生	統括者	13:00～13:30の間に北海道内で震度6強の地震が発生 ※任意の統括に災害連絡を行い、連絡網での連絡を実践
	15分	災害の認知	統括者 道庁  先遣隊	統括者全員に災害連絡(連絡済なら次へ進む) 統括者と道で連絡を取り合う 先遣隊へ災害発生連絡及び待機依頼 DPAT事務局へ災害発生連絡(訓練開始の連絡) <b>医療機関へ参集し待機</b>
	15分	調整本部設置協議	統括者 道庁	調整本部長を決め、道と調整本部立上げを協議 調整本部長となった統括は調整本部立上げを決定 統括者は調整本部設置場所へ参集 ※道庁〇階会議室(未定)
14:00	30分	調整本部の立上げ	統括者 道庁 先遣隊	調整本部の立上げ及び派遣調整 調整本部立上げの通知を先遣隊へ連絡 <b>医療機関で待機及び資材の確保</b>
	15分	派遣要請	統括者 道庁 先遣隊	先遣隊の選定、派遣要請の決定 選定した先遣隊へ派遣要請を通知 <b>派遣要請を受理し、先遣隊を編成</b>
	15分	先遣隊の出動	統括者 先遣隊	活動拠点本部の決定 <b>※道庁別館または近隣会議室(未定)</b> <b>活動拠点本部へ出動</b>
15:00	30分	活動拠点本部の立上げ	先遣隊  統括者	<b>活動拠点本部立上げ</b> 役割分担及び他の災害対応チームとの連携方法の確認 先遣隊への指示
	15分	現地支援	先遣隊 統括者 道庁	<b>支援先での支援(簡易訓練)</b> 先遣隊からの情報をもとに、DPATの派遣を決定 DAPTに派遣依頼
	15分	先遣隊の撤収	先遣隊  統括者	<b>活動拠点本部を次のDAPTに引継ぎ(引継ぎ書類等の作成)</b> <b>※先遣隊は調整本部へ移動</b> 後続DPATの指揮命令
16:00	15分	調整本部の解散	統括者 道庁	調整本部解散の決定 他の災害対応チームへの調整本部解散の連絡 DPAT事務局へ調整本部解散の連絡、活動のとりまとめ
	45分	振り返り	全員	<b>訓練の講評</b> <b>意見交換(次年度訓練の課題抽出等)</b>
17:00		解散		